



高木 広和 議員

新たなごみ処理施設の建設予定地における浸水リスクの管理について

高島市の防災マップから建設予定地は浸水リスクが最も高い場所と思うが。

答 災害時は相当な浸水が想定されていますが、十分対策を検討した上での建設となります。

問 高島市の防災マップによると、新たなごみ処理施設の建設予定地における浸水深は、100年確率の降水量で5m以上となっており、建設予定地は高島市内の河川沿いの区域の中でも際立って浸水リスクが高いように思われる。

浸水が想定されており、新たなごみ処理施設の建設予定地も相当な浸水が想定されています。

問 建設予定地は浸水リスクが市内で最も高い場所と思うが。

答 環境部長 災害時には浸水が予想されますが、その中で十分検討した上での建設となりますので、安全性を確保するように努めていきたいと思えます。

問 市が建設予定地として土地を取得されるにあたり、浸水対策をしっかりとし、安全性の確認がされていないと認められないか。

市が建設予定地として土地を取得されるにあたり、浸水対策をしっかりとし、安全性の確認がされていないと認められないか。

答 環境部長

200年確率を想定し、8mの浸水を仮定した造成や施設の高さ等について検討いただいています。施設の1階部分は浸水しても支障が生じることのないように、傾斜路、いわゆるランプウェイ方式などの採用についても検討いただいています。

進入路についても、道路改良や施設への取付道路など、総合的に検討しなければならぬと考えています。

浸水した場合でも、収集したごみやがれき等が流出することがないように、また周辺環境に影響を与えること

とがない整備計画により、安全性は確保できるものと考えています。

その他の質問

● 保育人材を確保する施策について

答 環境部長

100年確率と200年確率のいずれも、市内のほぼ全域で1mから3mの

